

## 質問及び回答一覧

No.	質問内容	回答
1	ワーケーションの相談窓口の設置について、事業期間を通じて設置するのか。対応方法は電話とメール等でも良いのか。対応日時も弊社の営業日時に合わせて問題ないか。	相談窓口の設置は委託期間中を想定している。 対応方法や時間については、いただいた提案を受けて評価させていただく。
2	ワーケーション相談は体験ツアー実施に対する一定期間の対応が良いのか。体験ツアー以外にも、一般からの問い合わせにも対応するのか。	仕様書4（1）に記載のとおり、苫小牧へのワーケーションを検討している方に対する問い合わせ等のサポートを想定している。
3	体験ツアーに係る費用に宿泊費、食事代は含まれるのか。	仕様書4（3）では、体験ツアーに係る費用は事業費にに含まれるものとするとしているが、参加者から費用負担を求めることについては制限を設けていない。
4	体験ツアー参加者の形態は企業、個人事業主が対象なのか。	様々なケースが想定されるので、企画提案書の中において明記されたい。
5	宿泊はアルテンと市内ホテルの両方の施設を利用しなければならないのか。	アルテンと市内中心ホテルの両方利用で提案願いたい。
6	体験ツアーで参加人数や企業数、実施回数の想定はあるのか。	基準は設けていないが、複数の組、さらに複数人における提案を希望する。企画提案書の中において、参加する期間、人数等を明記されたい。
7	体験ツアーの日程は任意設定で良いのか。最低日数の設定を設けるのか。	基準は設けていない。企画提案書の中において、日程等を明記されたい。
8	提案書は1社1案件のみの提出か	苫小牧市ワーケーション拠点構築事業委託業務提案書作成要領の4 その他（7）に記載のとおり、提案書の提出は、1事業者につき1案とする。
9	ワーケーション拠点構築事業は来年度以降も継続して実施する予定はあるのか。	ワーケーション拠点構築事業の来年度以降の実施については未定であるが、苫小牧市としては、ワーケーションを通じて交流人口・関係人口の増加に取り組んでいきたいと考えている。
10	セールスプロモーション実施について、サイトやパンフレットの更新回数と発行部数の想定はあるのか。	基準は設けていない。企画提案書の中において、更新回数や発行部数を明記されたい。